

## 外 科

<指導医> 坂東 道哉、梅谷 直亨、森 正樹、田村 徳康、竹中 芳治、三宅 大、  
濱崎 俊輔、桜井 博仁(指導責任者)

<期間> 必須 3ヶ月

<指導体制> 診療責任者のもと、上級医師、上級研修医師とチームを組んで診療にあたる。

<一般目標>

初期臨床研修医師は、プライマリケアの基本的な臨床能力を身に付けるために、最低限の外科および基本的な臨床における知識・技能・態度を身につける。

<行動目標>

- ①患者及び家族から適切な情報が聞き出すことができる
- ②病歴、身体所見、評価、治療経過など必要事項を適切にカルテに記載できる
- ③ナースその他職員が記載したカルテの内容を理解し診療に役立てることができる
- ④ナースその他の職員に必要な情報を提供し適切な指示ができる
- ⑤適切な検査計画・治療計画をたて実行または依頼できる
- ⑥患者・家族に対する指導医の病状説明を理解し記録できる
- ⑦担当した症例をカンファレンスで過不足なくプレゼンテーションができる
- ⑧保険診療に必要な諸手続の必要性を説明できる
- ⑨当直医に必要な知識・技能・態度が習得できる
- ⑩静脈内注射、静脈内留置針挿入、気管内挿管、心マッサージが適切に行える
- ⑪腹部超音波を実施し、所見を得ることができる
- ⑫担当患者の退院要約サマリーを速やかにかつ必要十分に書くことができる
- ⑬清潔操作および創部の消毒が適切におこなえる
- ⑭第二助手として手術に入り、術者の意図をくみながら適切に介助できる
- ⑮急性腹症の疾患とそれを判断するための理学的、画像診断学的所見がとれる
- ⑯皮膚の麻酔法・縫合法の種類と適応を説明でき、簡単な縫合ができる
- ⑰外傷の初期治療ができ、外科医に相談すべき状態を判別できる
- ⑱整形外科・泌尿器科患者の一次対応ができ、専門医へ相談すべき状態を判別できる
- ⑲粉瘤・脂肪腫の切除、リンパ節生検、虫垂切除術、鼠径ヘルニア根治術(腹腔鏡下手術を含む)  
が指導医のもと適切に行える
- ⑳術後患者の全身管理ができる
- ㉑縫合および結紮、鏡視下での縫合および結紮修練をシミュレーターを用いてできる

<研修内容>

以下の疾患の患者を受け持ち、経験する

消化管穿孔	胃癌	胆石症	急性胆嚢炎	急性胆管炎
総胆管結石	胆管癌・胆のう癌	肝癌	大腸癌	鼠径ヘルニア
膵癌	急性虫垂炎	痔核・痔瘻	直腸脱	乳癌
腸閉塞 (緊急手術を含む)				

※以下に外科の紹介を挙げますが、研修医3年生の実際の言葉で紹介させていただきます。

河北総合病院の外科研修は、**経験できる手術件数の多さが最大の特徴**だと実感しています。消化器一般外科での研修が主体となりますが、一般的な虫垂炎やヘルニアといった手術を早くから経験でき、また虫垂炎などは**都内でも有数の手術件数**となっているため、自然と手術操作における基本を早くから学ぶことができます。このことは、早くから進路を外科で決めている研修医にとっても、漠然と外科系に興味を持っている研修医にとってもとても有意義な体制だと思います。

また手術以外にも一般的に病棟で必要となる手技についても経験できる機会が多く、**CV挿入**や**胸腔・腹腔穿刺**、急性胆嚢炎に対する**経皮経肝胆嚢ドレナージ**なども経験でき、やる気と頑張りによってはさらに多くの手技を経験できる病院です。そうして豊富な経験ができるのも指導医の先生方や諸先輩の熱い指導のおかげなのですが、自分が頑張った分だけそれを生かすチャンスがある、**頑張りがいのある職場**です。

**【例：ある外科研修医が執刀した手術の実際】**

- ・虫垂切除術（開腹、腹腔鏡下）
- ・回盲部切除術
- ・鼠径ヘルニア修復術（Direct kugel patch 法、腹腔鏡下）
- ・人工肛門造設術
- ・ハルトマン手術
- ・腹腔鏡下胆嚢摘出術
- ・乳房全切除術
- ・アテローム摘出術
- ・胸壁腫瘍摘出術
- ・リンパ節生検
- ・痔核切除術



など

**<週間スケジュール>**

手術日 月、水、木、金

	月	火	水	木	金	土
朝	8:30～ 抄読会(隔週)	8:30～ カンファレンス	8:30～9:00 消化器内科外科 カンファレンス		8:30～9:00 カンファレンス	
午前	手術、病棟 検査	手術、病棟 検査、 内視鏡	手術、病棟 検査	手術、病棟 検査	手術、病棟 検査、 内視鏡	病棟、検査
午後	手術、病棟 検査	病棟、検査 内視鏡	手術、病棟 検査	手術、病棟 検査	病棟、検査 内視鏡	病棟、検査
夕	18:00～ CPC・KDC (不定期)				18:00～ 勉強会	

※CPC：臨床病理カンファレンス、KDC：デスカンファレンス

<評価>

- ① 各科研修終了時に指導医がオンライン卒後臨床研修評価システム（EPOC）に入力する。
- ② 各科研修終了時に看護部が「看護部評価表」に記載する。

